

目次

はしがき

第1章 貧困の概念・定義・基準に関する整理

1	記述的概念としての貧困	002
2	貧困の「概念 (concept)」「定義 (definition)」	006
3	貧困の「概念」と「定義」の関係	010
4	貧困の「基準」	013
5	小 括	014

第2章 貧困概念拡大の契機——共同性の広がりと深まり

1	貧困の概念を拡大させる契機——共同性の概念	018
2	議論の焦点——ホネットとフレイザーの理論対立を手掛かりに	020

第3章 貧困理論の変遷過程

3	貧困概念の拡大の契機としての共同性概念 ——「あるべき平等」と「許容できない不平等」……	026
4	「何の不等等」なのか……	022

1	はじめに……	032
2	ラウントリーの貧困理論およびその社会背景……	036
3	タウンゼントの貧困理論およびその社会背景……	044
4	タウンゼントの貧困概念では捉えられない「新しい貧困」……	060
5	新しい貧困理論……	067

第4章 社会政策における社会的排除概念

1	社会的排除とは……	076
2	イギリスにおける社会的排除概念……	087
3	フランスにおける社会的排除概念……	100
4	フランスの社会政策の先進性……	112

5	小 括……………	120
---	----------	-----

第5章 貧困理論とケイパビリティ・アプローチ

1	A・センの貧困理論とケイパビリティ・アプローチ……………	126
2	ケイパビリティとシティズンシップ……………	133
3	シティズンシップの権利の実質性……………	145
4	「労働の権利」の実質性……………	156
5	小 括……………	160

第6章 貧困理論の新たな展開

1	貧困概念と貧困学説史的検討……………	168
2	先行研究との比較による論点の整理……………	172
3	総 括——新しい貧困理論としての社会的排除理論の意義……………	185

あとがき

参考文献